

はまだ

HAMADA SHIGIKAI DAYORI

市議会 だより

2007年(平成19年)5月1日発行
はまだ市議会だより Vol. 6

主な内容 頁

定例会議会のあらまし・・・ 2

議員定数等調査特別委員会の設置他・・・ 3

予算・一般質問・・・ 3～7

議決結果一覧・・・ 7～8

予算審査特別委員会を常任委員会化に決定

(予算審査で答弁する宇津市長)



〔議長直行メール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
必ず議長自ら目を通して回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上送信ください)

E-mailアドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp

平成19年
3月
**定例市議会の
あらまし**

平成19年3月浜田市議会定例会は2月26日に招集され、会期を3月20日までの23日間として開催しました。

今議会は、最初に市長が平成19年度の当初予算をはじめとする諸議案の説明に先立ち、今後の市政運営に關する施政方針を表明されました。そして、議案の審議を行いました。

初日は、予算審査委員会を常任委員会として設置するため、浜田市委員会条例の一部を改正する条例を委員会提出し即決を行いました。その後、市長から提出された案件は、追加提案も含め予算27件、条例関係30件、同意2件、市道路線関係2件、その他9件の合計70件が提出され、報告が3件ありました。議員からは、特別委員会設置など2件、意見書3件を提出しました。今定例会から地方自治法改正にいち早く対応し、常任委員会として設置した予算審査委員会での審議は、本会議と同様に一つの事業に対して対面方式で審議を行い、ケーブルテレビで放映するために録画を行いました。

また議員定数等調査特別委員会を設置し、今後の議員定数等のあり方について議論を行います。

本会議で審議された
主な議案の内容

〔予算関係〕

▼平成18年度、浜田市一般会計補正予算(第6号)

この補正予算は、国県補助事業の確定に伴う事業費の追加や変更、現時点で予算不足や不用額が生じる事業費、勸奨退職者等の追加に伴う退職手当組合特別負担金及び不適正事務処理経費に充当する地域振興基金についても調整しております。

▼平成18年度、浜田市一般会計補正予算(第7号)

追加提案となつたこの補正予算は、議会に提案した予算(第6号)の調整後、諸般の事由により、平成18年度予算から19年度予算に振り替えるものです。

この結果、歳入歳出予算の総額は、それぞれ383億573万円となり、補正の主なものは、合併支援体制整備費補助金の浜田市補助金枠4億5千万円の一部が翌年度申請となるための減額、及び浜田駅北地区整備事業で、独立行政法人・国立病院機構との用地交換時期が遅れることが判明したため売却費

を減額するものです。

▼平成19年度、浜田市一般会計予算について

市の財政状況は依然として厳しい状況にあり、行財政改革の着実な実行と見直しを進め、経費節減と実施事業の重点化を図りました。市税については、所得税から個人住民税への税源移譲による影響で全体では増となりましたが、法人住民税や固定資産税は減収となりました。

歳出については、ケーブルテレビ整備事業、ふるさと交流館整備事業や浜田地区広域行政組合のエコクリンセンター運営に係る負担金などにより総務費、商工費や衛生費が増となり、高能機消防指令センター整備事業など事業の完了により消防費や教育費が減となりました。

この結果、歳入歳出予算の総額は、それぞれ327億5千万円となりました。

▼平成19年度、浜田市一般会計補正予算(第1号)

この補正予算は、平成18年度一般会計補正予算(第7号)で減額した事業について、新年度の早い時期に仮契約等を締結する必要があるため、同様の内容で歳入歳出それぞれ13億9598万8千円を追加するものです。

この結果、歳入歳出予算の総額は、それぞれ341億4598万8千円となりました。

▼平成19年度、浜田市国民健康保険特別会計予算について

事業勘定の歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億8531万7千円とし、直営診療施設勘定の歳入歳出予算の総額はそれぞれ2億7251万2千円となりました。

〔条例関係〕

▼浜田市議会議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

▼浜田市市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

▼浜田市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

これらの条例改正は、浜田市特別職報酬等審議会から、市議会議員、市長、助役及び収入役の期末手当の役職加算を「100分の40」から「100分の15」に改定することが適当との答申を受けて改正するものです。また、付属機関の新設に伴い委員の報酬額を定めるものです。

▼人権擁護委員候補者の推薦について同意しました

- 上野 茂さん(旭町)
- 佐々木 典子さん(旭町)

【議員定数等調査特別委員会を設置】

3月定例会において、今後の議員定数等のあり方に関する事項について調査及び研究を行うことを目的に、議員定数等調査特別委員会を設置しました。委員定数は12名で構成され、次の方が選任されました。

- 委員長 牛尾 博美
- 副委員長 吉田 千昭
- 委員 佐々木豊治
- 委員 田村 友行
- 委員 川神 裕司
- 委員 原田 義則
- 委員 下隅 義征
- 委員 向 惇雄
- 委員 江口 修吾
- 委員 高原 好人
- 委員 美浦 美樹
- 委員 木村 正行

【政務調査費の公開について】

牛尾昭議長に対し、議会改革検討委員会（吉田千昭委員長）から、政務調査費（年間7万円）の用途について全面的に公開するよう答申がなされたことに伴い、浜田市議会では政務調査費の透明性と公正性を高めるため、平成18年度分から全国に先駆け市議会ホームページにより各議員それぞれの用途について、すべて公開するよう決定しました。また、議会事務局において閲覧も可能です。

【平成19年度当初予算を可決】

平成19年度当初予算は、厳しい財政状況下で一般会計では前年度当初と比較し30億4千万円率で8・5%減の総額327億5千万円の緊縮型予算となりました。

歳入は、国からの税源移譲により市民税が30億9千44万円で前年度比21・8%の増額となり、固定資産税については、三隅火力発電所の減価償却等により、44億7千9百50万5千円で4・8%の減額となりました。

歳出は、人件費の一般職員平均4・8%の給与カットなどにより、3億3千万円で前年度比4・6%減により62億8千7百万円。また、浜田駅北開発用地取得及び学校給食センターの建設が前年度で終了したことにより、投資的経費が22億7千6百万円で29・4%の大幅減の54億6千2百万円になり、また、借金返済に充てる公債費については、前年度に地方債18億2千万円を繰上げ償還したことから5億8千万円の8・8%減で、60億5千7百万円となりました。予算不足分の8億円は前年度より9億円の減で財政調整基金等が充当されます。3月定例会から、新しく常任委員会化された予算審査委員会に付託し、一般会計、特別会計、企業会計についてそれぞれ慎重に審査のうえ、本会議で可決しました。

美浦美樹議員

中山間地域の地域づくりについて

質問

中山間地域では、過疎化の進展により集落機能の衰退は深刻な状況にある。

行政としてどう取り組まれるのか問う。

答弁

現在、三隅自治区、旭自治区で実施している、職員地域担当制を、平成19年度からは弥栄自治区でも実施する。

「弥栄自治区地域自治機能活性化支援事業」として、自治会が策定する地域活性化計画を支援することとしている。

このように各自自治区において、地域の実状に合わせて特色ある取り組みを一つ一つ積み重ねていくことが大切である。

行政としても地域に入り込んで地域の実態を把握し、住民と一緒に地域資源の活用、地域コミュニティの活性化に向けて、体制づくりや環境づくりを積極的に行っていく。

江角敏和議員

医療センターへの市民の期待について

質問

① 市民から、「医療センター」の建物が新しくなっても「…」と、不安の声をよく聞くが、市は、どのように捉えているか。市民の声が届き、活かされる組織が必要ではないか。

② ペットCTや新機器の導入の動向と医師・看護師不足の対策はどうなっているか。

答弁

① 多くの市民から率直な意見を伺っている。信頼され愛される病院となるよう、センター側でも市民が加わった組織の設置を検討されている。

② ペットCTは設置したい意向でも市も積極的に取り組む。血管造影装置・CTの増や電子カルテ導入も検討されている。医師・看護師不足対策も連携し積極的に取り組みたい。

その他の質問

① 財政運営について
② まちづくり三法見直しへの対応について

平石誠議員

全国レベルのスポーツ選手の育成について

質問

① 部活動の位置付けについて問う。

② 環境整備について問う。

③ 充実した自然環境の活用指導者の確保について問う。

答弁

① 学校部活動は教育課程外の教育活動として、学校が計画・実施し、教諭が職務命令により指導している。

② 学校施設の不備な点は、使用者等の意見を参考に検討し、積極的に改修していく。

浜田市野球場の改築・改修についてはスポーツ振興審議会において施設再編に向けた計画づくりに取り組んでいる。

③ 浜田市は充実した自然環境や施設に恵まれ、また、熱心な指導者にも恵まれている。体育協会加盟の各団体に助成することで指導者の確保・育成を実施している。こういった中から浜田市の冠スポーツを育てていきたい。

人事について

原 田 義 則 議員

質問

人員配置の基本的な考え方について問う。

答弁

公務能率を高め、確実に業務を推進するための必要な人員を配置する。また、配置する職員については適材適所となるよう考えている。

質問

旧市町村間(本庁・支所間)に於ける職員の人事交流をすべきではないか問う。

答弁

浜田市行政の一体感の醸成を図るためにも、人事交流の促進は必要なことと考えている。今後少しずつ交流を拡大し、業務量調査の終了後の機構改革に併せ、更に人事交流を推進したいと考えている。

その他の質問

- ① 農業振興と中山間地域の活性化について
- ② 新交通システムについて

法テラスについて

佐々木 豊 治 議員

質問

法律サービスをより身近に受けられるようにするため、昨年10月2日、「日本支援センター」(愛称・法テラス)がスタートした。

トラブル解決への道案内ともいえる「法テラス」に関する情報を広く市民に提供すべきと考えるが所見を問う。

答弁

当市としても、この制度を市民の皆さんが活用できるような情報を提供することは、非常に大切と考える。これまで、広報等で紹介してきたが、引き続きポスターの掲示やパンフレットの設置を通して、広く情報提供したいと考える。

その他の質問

- ① 国の新たな方針に基づく農山漁村づくりについて
- ② 地域資源を活かした取り組みについて

自給率向上と浜田感動情報センターについて

西 田 清 久 議員

質問

① ここ数年の農業振興事業と生産性の推移についての捉え方と効果について問う。

また、助成対象外の小規模耕作放棄地や遊休農地をワーキングホリデーや市民農園として活用してはどうか問う。

② 交流や観光の動力源としての広島PRセンターを浜田感動情報センターとして、予算や職員などさらにパワーアップさせていく方策を問う。

答弁

① 中山間地等直接支払制度は生産性の向上とは趣を異にするが、今後も島根県の普及と連携し、農地の有効活用と生産性及び自給率の向上に努める。また、附帯施設の設置や運営管理者の配置など課題はあるが利便性や指導者の存在によっては可能性がある。

② この事業の重要性は認識しており、今後検討する。

中山間地域の集落機能維持と活性化について

山 田 義 喜 議員

質問

① 実態把握の方法と取り組み策について問う。

② 集落再編に対する考え方とその課題について問う。

答弁

① 浜田自治区以外の各自治区で、集落についてのアンケート調査を実施し、現在、集約中である。

職員の地域担当制を(旭・三隅自治区は合併前から、弥栄は平成19年度から実施)導入して、その中で地域の実態把握と地域活性化計画の策定に取り組む。

浜田・金城自治区は地域の実情に即した実態把握の具体的な方法を検討中である。

② それぞれの地域により課題も違うので、実情を踏まえ十分議論することが大切であり、できる限りの支援をする。

その他の質問

- ① 農業振興について
- ② 道路整備について

犯罪のない安全・安心のまちづくりについて

鎌 原 ヤシエ 議員

質問

① 本年度の「子ども見守り活動」など防犯活動は、どのような状況か問う。

② 浜田市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例を効果的に推進するため「防犯推進の日」を定めるべきと思うが考えを問う。

答弁

① 自主防犯活動団体は、町内や公民館等を中心とした地域団体二十五団体、事務所などの職域団体十一団体が結成されている。

本年度、活動団体の連携強化を図るため「浜田市子ども安全連絡協議会」を設置した。

② 条例制定後、推進計画を策定する考えである。その中で自治会、関係機関等と協議し、意見がまとまれば、計画に盛り込み、市民全体で取り組む。

その他の質問

- 認知症予防対策について

おお たに ひろ ゆき
大谷弘幸 議員
水田農業集落の
振興について

質問

- ① 現状認識と課題について
- ② 地域水田農業ビジョンについて
- ③ 担い手対策について
- ④ 営農組織の拡大について

答弁

- ① 労働力減少等現状は厳しく、地域での構造改革が必要で、担い手対策や振興作物を定めた推進が必要と考える。
- ② 農業生産構造の再構築を目指す5カ年計画を昨年4月に策定、その周知・啓発と事業推進の検証に努める。
- ③ 4月から本庁に「浜田市農林業支援センター」を設置し、地域の実情に即したきめ細やかな対応による担い手及び振興対策等に取り組む。
- ④ 集落営農組織化は必要でリーダー育成と組織化、その拡大に積極的に取り組む。

その他の質問
認知症高齢者対策について

しも ずみ よし ゆき
下隅義征 議員
基金の繰替運用に
ついて

質問

- ① 浜田市財政の現状について
- ② 自治区基金（地域振興基金）の繰替運用について

答弁

- ① 合併前の旧浜田市の起債残高は、平成16年度末で23億2千7百万円。
- 合併後の起債残高は、平成17年度末で534億2千2百万円。
- 合併時点の地域振興基金残高は70億6千3百万円です。
- ② 25億円で年間1億5千万円の利息削減となり、議員提案の複数年積算方式で試算し、繰替額を40億に置き換えらるると16億円の利息削減となり更に、破綻法制等が議論される今日、金融市場や市民の方々の信用につながると思慮するところである。

しかし、地域振興基金は当市固有の自治区制度の根幹をなすものであり、慎重の上にも慎重に検討したい。

みち した ふみ お
道下文男 議員
少子化・学校教育・
雇用創出について

質問

- ① 認定マーク推奨で、子育てし易い労働環境改善措置を。
- ② 二学期制導入及び校区制厳守の教育を図るべきでは。
- ③ 矯正施設での、情報提供を早期に推進すべきでは。

答弁

- ① 多方面から十分検討する。
- ② 二学期制、また校区制は現在慎重に検討している。
- ③ 最大限の経済波及効果に努め、早期情報提供を図る。



ボランティア活動の子どもたち

その他の質問
総合基本計画の前期基本計画について

しん た かつ み
新田勝己 議員
格差社会への対応
について

質問

- ① 格差の実態と認識について
- ② 教育現場も「格差社会が反映している」と言われている実態を問う。
- ③ 地域づくりの対応策を問う。

答弁

- ① 都市と地方、職業・産業別で所得の差がある。雇用の格差は増加傾向にあり、定住促進、人材育成の観点では正社員が望ましい。
- ② 学力の面からも生活習慣と密接な関係にある。

一方、いじめ、問題行動の相談も多く、ストレスを抱えて過ごしている子供が沢山いると心配している。

③ 町内会への未加入は、これまで指摘されてきた。転入時に窓口でも呼びかける。

み うち かず お
三浦一雄 議員
教育行政について

質問

中山間地域の小規模校児童数は、年々減少傾向にあり10年後には7校が、一桁児童数の小学校となり学校運営や児童の想い、保護者の感情と地域住民の不安は計り知れない状況となっている。保護者から『少人数のために競争心が無く、成長に伴っての不安を感じる』『小規模校には通学させたくない』と話された。浜田市としての、子ども達の望ましい教育環境とは何か。

答弁

指摘のとおり今後は、一桁児童校が増えていく。望ましい教育環境は、子ども達が切磋琢磨し、お互いに成長できる環境だと考える。これらを考慮し、PTAや地域住民の意見を聞き、全市域における学校配置や学校統合計画について、学校統合計画審議会に諮りたいと考えている。

川 神 裕 司 議員
地域活性化のための
人材育成について

質問

① 先日、夕張市へ単独調査に出かけたが、財政破綻した背景には、職員や議員の危機管理の甘さ等があったと分析されていた。当市も財政危機を回避し市民サービス向上のため、コスト・危機意識を高める職員研修がさらに必要だが、市長の所見を問う。

② 市民の権利・義務履行をセットで考え、望ましい市民を創っていく「市民科」を小中一貫のカリキュラムに導入した学校があるが、当市では導入していく考えはないか。

答弁

① 公務員倫理研修や接遇研修等を実施してきたが、平成19年度には職員のモチベーションをあげるために新人事評価システム導入に向け人材育成基本方針を策定する。

② 体系的な市民科の実践を学ぶべき点があり、貴重な意見として受け止めたい。

木 村 正 行 議員
地域医療の現状と
対策について

質問

住民の命に関わる医師不足は深刻で、法改正による看護師の都市部集中も加わり地域医療の崩壊が加速している。

① 全国的な医師不足の中でも、石見地域の医療過疎は深刻である。浜田圏域の医師の充足率と現状認識を問う。

② 産科・小児科は市内の開業医の分娩取りやめや助産師不足で、放置できない事態だが、現状認識を問う。

③ 医療費抑制のため、医師数を制限する国のあり方には是正を求め、安心して子どもを産み育てる環境づくりに尽力すべきだが、市の対応を問う。

答弁

① 医師の充足率は75%程度で、県東部に比べ西部の医療体制は手薄く感じている。

② 医療センターの助産師も一人減の7人体制となる。

③ 医師や医療従事者の確保と育成に今後とも取り組む。

西 村 健 議員
国保基金の活用について

質問

今年度末の国保基金残高の推計値および今後の保健事業と基金活用について問う。

答弁

推計値は、財政安定化に9億3千9百万円、5年間の保険料の不均一付加に2億7千9百万円、保健事業に8億2千9百万円と見込み、総額は20億4千7百万円である。

今年度、来年度で策定する健康増進計画において保健事業の見直しを行い、基金の活用についても検討する。

質問

保健事業に充てる基金は、自治区によつては被保険者一人あたり十数万円と多額であり、保健事業による活用について疑問がある。基金を保険料の引き下げに活用すべきと思うが考えを問う。

答弁

保険料の引き下げに基金を活用することは困難である。

山 崎 晃 議員
浜田市立図書館の整備
と建設計画について

質問

移動図書館車の配備と浜田市民への図書サービスの充実について問う。

答弁

自治区には、図書館・図書室はあるが、図書サービスの標準化はできてなく、貸し出し冊数も低い状況である。

読書環境の充実と利便性の向上を図ることで、1500冊を積載した移動図書館車の配備を計画している。各自治区に月1回、小中学校を中心に巡回し、図書館サービスの充実に努めたい。



浜田市立図書館

三 浦 美 穂 議員
妊産婦健診の負担
軽減について

質問

当市では、次世代育成支援計画で総合的な少子化対策を展開している。現在、妊婦健診は、出産までに14回程度でその費用は、大きな負担となっている。今回、厚生労働省は、妊婦健診の無料回数を現在の2回から、5回程度に増やすことが、望ましいと提案しているが、当市はどのように検討されているか問う。

答弁

高齢や、ストレス等により様々なリスクを抱える妊婦が増加傾向にあるため、母体や胎児の健康確保を図る上から妊婦健康診査の必要性が一層高まっている。当市では、公費負担での妊婦健康診査を2回実施しているが、今後、健診内容の充実を含め、5回に増やす方向で検討したい。

その他の質問

安心して出産できる環境づくりについて。

三浦保法議員

三浦保法議員

質問

① 学校給食費の未納が全国的に大きな問題となっているが、当市での未納状況について問う。

② 他県でノロウイルスが原因で千人規模の集団食中毒が発生したが、当市給食の安全管理について問う。

答弁

① 当市の未納額は83万円余。未納者数は40名で、割合は0・8%です。未納の理由は保護者の責任感や規範意識の欠如が多く、文書督促や家庭訪問など、学校に未納解消の取り組みを指導していく。

② 当市ではマニュアル等を作成し感染防止に努めているが、今後ノロウイルスや異物混入等を想定した「緊急時の対応マニュアル」を作成し、より一層の感染防止を図る。その他の質問

① 山陰自動車道について
② 税源移譲について

岡田治夫議員

岡田治夫議員

質問

① 今後の財政運営と総合振興計画について特に留意すべき点について問う。

② 浜田市農林業支援センターの位置づけについて問う。

答弁

① 特に留意する点は、「浜田市総合振興計画」、「中期財政計画」、「行財政改革実施計画」に沿った行財政改革の着実な実行と計画的な予算編成に努めること。又、行財政改革及び合併効果を反映した中長期的な財政運営の数値目標を明確にし、「構造的収支不足」の早期解決と健全財政の確立に取り組み、特に公債費の計画的縮減に努める事が肝要と考えている。

② 支援センターは、自治区の枠を超えた全市をカバーするものとし、農林課直属の現場主義に基づく、県・JA、そして浜田市のスタッフから成る組織と考えている。

議決結果一覧

市長提出議案

議案番号	件名	議決結果等
議案第1号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	浜田市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定について	原案可決
議案第4号	浜田市生活路線バス条例の制定について	原案可決
議案第5号	浜田市議会議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	浜田市市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	浜田市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	旧誘致工場等に対する町税の課税免除に関する条例の規定に基づく課税免除の経過措置に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第10号	浜田市有料駐車場条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	浜田城に関する資料館及び城山整備基金条例の制定について	原案可決
議案第12号	浜田市農業集落排水事業財政調整基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案第13号	浜田市公共下水道事業財政調整基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案第14号	浜田市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	浜田市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	浜田市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	浜田市名木保存条例の制定について	原案可決
議案第19号	独立行政法人緑資源機構事業負担金等徴収条例の制定について	原案可決
議案第20号	浜田市老人肉用牛センター条例を廃止する条例について	原案可決
議案第21号	浜田市集落排水施設条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第22号	浜田市集落排水事業受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第23号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第24号	浜田市営地域定住住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第25号	浜田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第26号	浜田市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第63号	浜田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第64号	鳥根県後期高齢者医療広域連合に派遣する浜田市職員に支給する特殊勤務手当に関する条例の制定について	原案可決
議案第65号	浜田市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第66号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第38号	平成18年度浜田市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第39号	平成18年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第40号	平成18年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第41号	平成18年度浜田市老人保健医療事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第42号	平成18年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決

議案番号	件 名	議決結果等
議案第43号	平成18年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第44号	平成18年度浜田市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第45号	平成18年度浜田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第46号	平成18年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第47号	平成18年度浜田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第48号	平成19年度浜田市一般会計予算	原案可決
議案第49号	平成19年度浜田市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第50号	平成19年度浜田市駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第51号	平成19年度浜田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第52号	平成19年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計予算	原案可決
議案第53号	平成19年度浜田市老人保健医療事業特別会計予算	原案可決
議案第54号	平成19年度浜田市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決
議案第55号	平成19年度浜田市国民宿舎事業特別会計予算	原案可決
議案第56号	平成19年度浜田市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第57号	平成19年度浜田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第58号	平成19年度浜田市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第59号	平成19年度浜田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決
議案第60号	平成19年度浜田市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第61号	平成19年度浜田市水道事業会計予算	原案可決
議案第62号	平成19年度浜田市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第67号	平成18年度浜田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第68号	平成19年度浜田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第27号	指定管理者の指定について（浜田市やさかやすらぎの家）	原案可決
議案第28号	指定管理者の指定について（浜田市三隅中央公園及び田の浦公園運動施設）	原案可決
議案第29号	指定管理者の指定について（浜田市岡見スポーツセンター）	原案可決
議案第30号	財産の取得について（浜田駅北地区整備事業に伴う公共施設用地）	原案可決
議案第31号	財産の無償譲渡について（浜田市老人肉用牛センター）	原案可決
議案第32号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第33号	市道路線の認定について	原案可決
議案第34号	鳥根県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案第35号	浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合規約の変更について	原案可決
議案第36号	浜田地区広域行政組合規約の変更について	原案可決
議案第37号	浜田市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
同意	同意第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	同意
同意	同意第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	同意
報告	報告第1号 専決処分の報告について（浜田学校給食センター移転改築に伴う建築主体工事の変更契約）	報告
報告	報告第2号 専決処分の報告について（物損事故の損害賠償の額の決定）	報告
報告	報告第3号 専決処分の報告について（物損事故の損害賠償の額の決定）	報告
請願	請願第7号 安心・安全な公務・公共サービス拡充を求める請願について	不採択
請願	請願第8号 リハビリテーション医療の日数制限撤廃の意見書採択を求める請願について	採 択

議会提出議案

議案番号	件 名	議決結果等
発議第1号	浜田市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決

議会追加提出議案

議案番号	件 名	議決結果等
発議第2号	議員定数等調査特別委員会の設置について	原案可決
発議第3号	全国森林環境税の創設を求める意見書について	原案可決
発議第4号	医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書について	原案可決
発議第5号	リハビリテーションの診療報酬制度に関して、調査と改善を求める意見書について	原案可決

議会追加提出案件

議案番号	件 名	議決結果等
選任第1号	予算審査委員会委員の選任について 議員派遣について	選 任 原案可決

委 委 委 委 委 福 委 議
員 員 員 員 員 員 員 員 員
佐 道 平 三 新 島 山 議
々 下 石 浦 田 本 浦 崎 会
々 文 保 勝 鎌 美 晃 員
々 治 男 誠 法 己 利 穂 晃 会

私たちが議会だより編集委員会が発行する議会だより第6号となりました。これまで、どうすればより多くの市民の皆さまに読んでいただき、議会の内容を伝えられるかを考え、取り組んで参りました。今後も、「分かりやすい・読みやすい・親しみやすい」議会だよりをお届けできるよう、委員一丸となつて編集に励みますのでよろしくお願いたします。

あ と が き